



## 赤ちゃんは、おなかの中で何をしているの

### 赤ちゃんの命の始まりは、1個の細胞

わたしたちの体は、小さな小さな細胞からできていて、その数は全部で60兆もあっていわれています。筋肉も骨も内臓も、みんな細胞が集まってできているのです。

赤ちゃんの命は、お父さんの体の中にある精子というものと、お母さんの体の中にある卵子というものが、いっしょになったときに始まります。

精子や卵子も、小さな小さな細胞です。それがいっしょになって、赤ちゃんになるわけですから、赤ちゃんの命の始まりは、1個の細胞ということができます。

1個の細胞から、どんどん細胞の数を増やし、体のいろいろな器官をつくりながら、赤ちゃんはどんどん成長して、だんだん、人間の赤ちゃんらしい、体になってきます。

ですから、赤ちゃんが、おなかの中でしている第一のことは、体をつくることなのです。

### 赤ちゃんがおなかの中で動きはじめるのは

赤ちゃんが、おなかの中で動くのは、7週くらいたってからといわれています。9週ごろには、体全体を動かすようになり、12週ごろにはかなり活発になり、14週ごろには回転までできるようになります。そして、15週をすぎたころには、手足を動かしたり、口をぱくぱくさせたり、ますます、活発に動くようになるようです。

このように、おなかの中の赤ちゃんは、体をつくったり運動をしたりと、生まれてくるための準備をしているのです。(監修・保志 宏)

